

国宝 大崎八幡宮

御

鎮

座

記

念

祭

雅楽の夕べ

令和四年八月十二日(金)

祭典 午後六時三十分

雅楽の夕べ 午後七時

大崎八幡宮 社殿前特設舞台

初穂料 お一人 三千円

出演 伶楽舎

大崎八幡宮職員

主催 大崎八幡宮



*感染症防止にご協力ください。

国宝 大崎八幡宮

御鎮座記念祭

雅楽の夕べ

令和四年八月十二日(金)

祭典 午後六時三十分

雅楽の夕べ 午後七時開演

大崎八幡宮 社殿前特設舞台

初穂料 お一人三千円

出演 伶楽舎

大崎八幡宮職員

演奏曲目

- | | | |
|--------|--------|-------------------|
| 一、今様 | 白薄様 | いまより しろりすより |
| 二、神前神楽 | 浦安の舞 | しんぜんかぐら うらやすのまい |
| 三、管絃 | 太食調音取 | かんげん たいしきちようのねとり |
| | 仙遊霞 | せんゆうが |
| 四、管絃 | 抜頭 | ばとう |
| 五、御神楽 | 其駒―人長舞 | みかぐら そのこまーにんじようまい |
| 六、神前神楽 | 萬代の舞 | しんぜんかぐら よろずよのまい |
| 七、退出音声 | 長慶子 | まかでおんじよう ちようげいし |

仙台藩祖伊達政宗公は開府の秋、仙台城の乾(北西)の方角にあたる当地を八幡宮の鎮座地と定め、現在の御社殿を御造宮。慶長十二年(一六〇七)八月十二日、正遷座の儀が浄闇のなか肅々と斎行され、大崎八幡宮が誕生致しました。

『治家記録引証記』(真山記九)には「慶長十二年八月十二日八幡宮成就シテ御遷宮、(中略)大工之棟梁ハ梅村彦左衛門二男三十郎頼次(中略)天下無双之巧人刑部左衛門国次(中略)鍛冶雅楽介吉家、(中略)画工ハ絵師佐久間左京ト也」と記されております。

御鎮座記念祭は四百十五年前の御遷座の日を記念して斎行されるものです。